

科目・コース（ユニット）名：解剖・組織学 1(人体発生学)

英語名称：Human Embryology

【担当責任者】辻岡 洋（神経解剖・発生学講座）

【連絡先】(電話) 024-547-1116 (e-mail) anatomy1@fmu.ac.jp

【開講年次】1 年後期および 2 年前期

【必修／選択】必須

【授業形態】講義

【概要】人体の構造の理解を助けるために、構造が出来上がる過程とその仕組みについて学ぶ。前半は、様々な構造の基本となる原基の形成過程を講義する(1 年時)。後半(2 年時)は、肉眼解剖学実習の進行に合わせて、各器官系の発生について解説する。最新の発生生物学的な知見も紹介する。

【学習目標】

- 1) 個体発生の初期段階(配偶子の形成から器官形成期の前半まで)の過程を説明できる。
- 2) 各器官系の発生過程を説明できる。
- 3) 発生の異常によって起こる代表的な先天的な障害について概説できる。

【教科書】

ラングマン人体発生学 第 12 版 メディカルサイエンスインターショナル
9,350 円 T.W. Sadler 著 山田重人、安田峯生訳

【参考書】

ムーア 人体発生学 第 11 版 医歯薬出版 (附属図書館にもあります)
11,000 円 K. L. Moore 著 大谷浩、小川典子、松本暁洋 訳
ラーセン 人体発生学 第 4 版 西村書店 (附属図書館にもあります)
6,600 円 Gary C. Schoenwolf 著 仲村春和、大谷浩 訳

【成績評価方法】

学習目標の到達度を 2 年前期の期末筆記試験で評価する(1 年後期の期末には試験を行わない)。さらに授業への出席と授業態度等を総合して評価する。期末試験の受験のためには全授業の 3 分の 2 以上に出席することが必須である。期末試験の再試験は 1 回だけ実施する。ただし、本試験において著しく低い点（正規分布において、概ね-3 σ 以下の得点）を得たものは、再試験の受験を認めない。

【学習上の注意事項】特になし

【垂直的統合授業の実施内容】

関連する産科学、新生児学、小児外科学的内容を含む講義が行われる。

【水平的統合授業の実施内容】

人体発生学の授業のテーマは肉眼解剖学実習の進度に合わせており、実習で観察した各構造の発生について人体発生学で講義する。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

授業内で授業担当者が行っている専門的な研究の内容も紹介されている。

【授業スケジュール】

人体発生学 2026 年度 2 年生講義予定

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
8	2026/4/21	火	1	(講) 骨格系・筋系・四肢の発生 1	本間
9	4/28	火	1	(講) 骨格系・筋系・四肢の発生 2	本間
10	5/12	火	1	(講) 心血管系の発生 1	向笠
11	5/19	火	1	(講) 心血管系の発生 2	向笠
12	5/26	火	1	(講) 消化器の発生	向笠
13	6/2	火	1	(講) 呼吸器の発生・体腔分割	向笠
14	6/9	火	1	(講) 鰓弓 1	本間
15	6/16	火	1	(講) 鰓弓 2	本間
16	6/23	火	1	(講) 泌尿生殖器 1	本間
17	6/30	火	1	(講) 泌尿生殖器 2・眼と耳	本間

人体発生学 2026 年度 1 年生講義予定

1	2027/1/18	月	2	(講) 発生の概要、配偶子の形成	渡邊
2	1/18	月	3	(講) 発生第 1 週 受精、卵割、着床	渡邊
3	1/21	木	3	(講) 第 2 週 二層性胚盤と栄養膜	渡邊
4	1/25	月	2	(講) 第 3 週 三胚葉の形成、神経板	渡邊
5	1/25	月	3	(講) 第 4 週 体節、胚のたたみ込み、鰓弓	渡邊
6	2/15	月	2	(講) 分節性、血管系、胎盤、胎児期	渡邊
7	2/15	月	3	(講) 外胚葉の発生分化	渡邊

【担当教員】

教員氏名	職	所属
本間 俊作	准教授	神経解剖・発生学講座
渡邊 裕二	講師	神経解剖・発生学講座
向笠 勝貴	助教	神経解剖・発生学講座